

() 年 () 組 () 番

模範解答

名前 ()

1 数字で書きましょう。(10点×3問)

(1) 一億二千七百六十九万二千

答え (1 2 7 6 9 2 0 0 0)

点

(2) 六十五億九千二百九十万七千五百

答え (6 5 9 2 9 0 0 7 0 5)

(3) 三兆八百八十万九十三

答え (3 0 0 0 0 0 8 8 0 0 0 9 3)



2 次の数を読み、漢字で書きましょう。(10点×3問)

(1) 1 4 9 5 9 7 8 7 0

答え (一億四千九百五十九万七千八百七十)

(2) 2 8 0 4 0 0 3 0 0 5 0

答え (二百八十億四千三万五千)

(3) 9 2 2 9 9 2 0 0 0 0 0 0 0 0

答え (九十二兆二千九百九十二億)

3 () にあてはまる数を書きましょう。(10点×2問)

(1) 1億を290こ集めた数は、(2 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0) です。

(2) 45600000000は、1000万を(4 5 6) こ集めた数です。

4 3560089768を読むために、コバトンは、下の図のようにほじょ線を入れて読むとまちがえないよと教えてくれました。どうしてでしょう。言葉で説明しましょう。

(20点)

3 5 | 6 0 0 8 | 9 7 6 8

説明

大きな数は、「一、十、百、千」と4けたごとに位がかわります。
そして、4けたあつまるとに「万、億、兆」となっていきます。
だから、4けたごとにくざると、まちがいが少なくなります。

() 年 () 組 () 番

模範解答

名前 ()

1 次の数を数字で書きましょう。(10点×4問)

(1) 10億を8こと、100万を5こ合わせた数

答え (8005000000)

点

(2) 1兆を3こと、10億を2こと、1万を1こを合わせた数

答え (3002000010000)

(3) 70億の100倍

答え (7000000000000)

(4) 6兆の $\frac{1}{10}$

答え (600000000000)

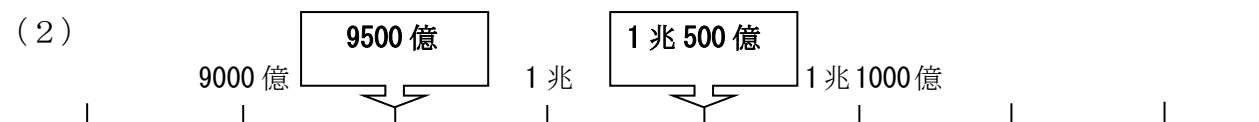


2 数直線で□にあてはまる数を書きましょう。(10点×4問)

(1)



(2)



(3)



3 [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0] のカードを1回ずつ使って、10けたの数を作ります。50億に一番近い数をつくりましょう。(20点)

50億より大きくて、いちばん近い数は、5012346789

50億より小さくて、いちばん近い数は、4987653210

それぞれ50億との差をもとめると

$$5012346789 - 5000000000 = 12346789$$

$$5000000000 - 4987653210 = 12346790$$

だから、いちばん近い数は、5012346789

答え 5012346789

() 年 () 組 () 番

模範解答

名前 ()

1 下の数について答えましょう。(10点×4問)

7803600000000

点

(1) 3は何のくらいですか。

答え (十億の位)

(2) 7は何が7こあることをあらわしていますか。

答え (一兆)

(3) この数は1億がいくつあるといえますか。

答え (78036)



(4) この数を $\frac{1}{100}$ した数を書きましょう。

答え (78036000000)

2 筆算で工夫してもとめましょう。(10問×2点)

(1) 4600×8600

$$\begin{array}{r} 4600 \\ \times 8600 \\ \hline 27600 \\ 368000 \\ \hline 39560000 \end{array}$$

(2) 3700×840

$$\begin{array}{r} 3700 \\ \times 840 \\ \hline 14800 \\ 296000 \\ \hline 3108000 \end{array}$$

3 387兆と536兆の和と差を求めましょう。(10点×2問)

(和)

$$\begin{array}{r} 387兆 \\ + 536兆 \\ \hline 923兆 \end{array}$$

答え (923兆)

(差)

$$\begin{array}{r} 536兆 \\ - 387兆 \\ \hline 149兆 \end{array}$$

答え (149兆)

4 次の筆算はまちがっています。どこがまちがっているか説明しましょう。(20点)

$$\begin{array}{r} 68000 \\ \times 42000 \\ \hline 136000 \\ 272000 \\ \hline 2856000 \end{array}$$

68000は68の1000倍、42000は42の1000倍だから、 68000×42000 の答えは、
 68×42 の1000000倍になる。
 しかし、左の筆算は、
 68×42 の答えに1000倍しかしていない。